

消防学校だより

令和6年5月号

発行年月日 令和6年5月31日
発行 宮崎県消防学校

初任科 安全管理

5月1日（水）、訓練施設の安全装置の確認、車両誘導方法及び高所作業に於ける安全対策について教育しました。高所訓練時の安全マットの配置や、施設にどのような安全装置があるかを確認し、訓練を安全に実施する為の準備事項、及び、車両誘導要領について訓練しました。



初任科 機器取扱訓練

5月2日（木）、機器取扱訓練を実施しました。消防で使用する資器材は、国産品もあれば海外製もあり、安全な活動を行うためには、資器材の諸元を十分理解し使用する必要があります。各種資器材の説明、使用方法を訓練しました。



初任科（健康と体力）

健康と体力と題して、消防体（體）育訓練等で「心と体と勇気」を育てるタフジャパンの鎌田 修広氏に講義をしていただきました。講義では、心理的エネルギーとストレスや危機への対応、自己を肯定することなど、これから消防人として歩いていく初任科生には心に響きました。



初任科（救急 資器材取扱い）

5月14日（火）、心肺蘇生法及びAED取扱いを含む救急資器材取扱いの授業を行いました。

昨今の初任科生は、救急救命士の有資格者も多く、救急に関する知識を持つ者も多くいますが、応急手当について、基礎的な知識、手技を修得させました。



初任科 (消防ポンプ)

5月21日(火)、消防ポンプの性能や諸元、水力学について学習しました。

消防車両及び可搬消防ポンプの構造についても実機を見ながら理解を深めました。



初任科 (消防操法)

5月23日(木)、消防操法訓練を開始しました。消防操法は、消火活動における操作の方法の基礎となるものです。しっかりと身につけます。



消防団 (消防団指揮幹部科 分団指揮課程)

5月21日(火)、22日(水)の2日間で、分団指揮課程を行いました。

昨今の災害は、多種多様化、大規模化しており、分団長は、従来の資器材と、ドローンなど情報収集資器材も積極的に活用し、災害防御と団員の安全を確保することが求められます。また、分団内でのマネジメント能力も必要となるため、分団長としての知識及び技術の習得を行いました。



★消防殉職者慰霊祭

5月29日(水)、宮崎県消防協会主催で消防殉職者慰霊祭が執り行われました。

殉職者ご遺族、並びに消防協会会長、消防学校長、消防保安課長が参列しました。

はじめに、消防協会会長が追悼の辞を述べ、ご遺族、来賓と順に献花をされ殉職された先人の御霊に対し、これまで以上に安全管理に気を配り、殉職者を出さないよう誓いました。



6月の主な行事

- 6月11日(火) ～13日(木) 消防操法審査員研修会
- 6月17日(月) ～7月12日(金) 第35期救助科

宮崎県消防学校
担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)
電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475
E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp